



尹東柱詩碑

尹東柱 詩集『空と風と星と詩』
 卷頭の「序詩」が刻まれている。
 尹氏は本学留学中に治安維持法違反の容疑で逮捕され、51年前に、福岡刑務所で獄死している。

死ぬ日まで涙を流さず、
 一点の涙なきことを、
 誰かいてよ心にも
 わたしは心癒んだ。
 罪をうたう心で、
 生きとし生けるものをいとおしまねば
 そしてわたしに与えられた道を
 歩みゆかねば。

今宵も星が風に吹き飛ばされる。



詩碑を建立したのは同志社コリアクラブ（同窓会）で、裏面には同クラブ「尹東柱を偲ぶ会」による詩人の紹介文が刻まれている。

同志社チャペルとハリス理化学館にはさまれた庭に、ひとつの詩碑が建っている。碑にはハングルと日本語で、韓国・朝鮮の国民的詩人、尹東柱氏の詩集『空と風と星と詩』巻頭の「序詩」が刻まれている。尹氏は本学留学中に治安維持法違反の容疑で逮捕され、51年前に、福岡刑務所で獄死している。（48ページに関連記事）



「Neesima Room」は、94年4月に大学工学部が田辺に統合移転して空いた、ハリス理化学館内に設置された。広さ162㎡の常設展示場で、95年1月の開設以来、長期の「徳富蘇峰展」と「同志社の開校と京都」展を開催した。同室は、同志社大学歴史資料館（本館は田辺校地）の分館としての役割も兼ねている。また隣接して、「ハリス理化学校記念室」（36㎡）が設けられている。

● 大学 「Neesima Room」



隣接の「ハリス理化学校記念室」

● 女子大学史料室



「戦時下の同志社女子専門学校」
(1995年度特別展示)



「創設期の同志社女学校」
(1994年度特別展示)



今出川キャンパス頌美館内
同志社女子大学史料室(1994年10月24日開室) M. F. デントン遺品展示室



左から岩山大学長、見玉女子大学長、松山総長、ブラット氏、アリス・ケリー氏、ケリー大学名誉教授、真継法人事務部長



新島襄の滞米生活を支えた大恩人アルフェース・ハーディ氏の直系5代目にあたるニコラス・ブラット氏(アジア・ソサエティ会長)が、大阪 APEC 出席のために来日。11月15日に同志社を訪れた。同氏は63年に初めて同志社を訪問した後も、駐日アメリカ大使館勤務時代の75年にも、同志社創立100周年記念式典に出席。今回は松山総長、岩山大学長、見玉女子大学長、オーテス・ケリー夫妻らと、アーモスト館と庭つづきの無賃主庵でなごやかな歓談のひとときを過ごした。